

総合住宅設備機器メーカーとしての エコキュート開発

石田 浩文 株式会社ハウステック 事業本部 担当部長

要約 当社は1963年に日立化成工業株式会社の住宅設備機器事業部として誕生し、40年以上にわたり、その歴史を築き上げてきた。2009年には日立グループから独立して社名をハウステックに改称したが、今後もそのものづくりの伝統や、技術・知恵にいつそうの磨きをかけ、お客様の価値観はもちろん、地球環境にも寄り添った新しいアイデアにもとづく商品開発によりお客様の『かしこく住まう』をサポートし続けて行く。今回、総合住宅設備機器メーカーとして当社が行ってきたエコキュート開発に関してその一部を紹介するものである。

1. はじめに

当社が住宅設備機器メーカーとして事業を開始したのは、1963年（昭和38年）に遡る。当時は、高度経済成長の中で都市部を中心とした人口密度の増加に伴い、住宅着工が急激に増加し、都市圏近郊には多くの集合団地が林立し始めた頃でもある。そのような時代背景において、当社が化学メーカーの一事業部門として発足した背景には強化プラスチックの樹脂合成技術とその応用として成形加工技術があったためである。当時は、集合団地の増加と共に内風呂が進み各家庭においても浴室が備わりつつあり、木製の浴槽が主流ではあったが、量産性に欠け、重量も重く形状も楕円形をしており工事搬入の煩わしさに加え、耐久性にも難点があった。そこで、当社は強化プラスチックの特性を活かして超寿命かつ軽量でコンパクトな角形浴槽を開発し販売を開始したのが創業の発端である。

その後、当社はこの強化プラスチック技術を利用した家庭用浄化槽や高架水槽、太陽熱温水器などの商品を開発上市してきた。また、元来の浴槽を進化させ現在浴室の主流であるシステムバスを他社に先駆けて市場に送り出すと共に、キッチン周りの商材も自社開発することで、総合水周りの住宅設備機器メーカーとなったのである。

2. 水周りメーカーとしての給湯設備

現在の当社は、システムバス、システムキッチン、洗面化粧台、家庭用浄化槽に加えてエコキュートを主力事業として位置付け事業展開を行っている。総合住宅設備メーカーとしてエコキュートを自社開発しているメーカーは少ないが、元来、当社は太陽熱温水器やガス石油温水器の開発を行っていた経緯もあり、給湯機器の開発に必要な電子制御技術や温水に関わるノウハウは備わっていた。また、システムバスやシステムキッチンで大量に使用する温水、即ちそれに必要な給湯設備はこれらの水周り商品と密接な関係でもあり、温水利用の付加価値向上がシステムバスやシステムキッチン自体の付加価値向上にも繋がるものと考え、両製品のシナジー効果を上げることを念頭に商品開発を行ってきた。

当社が自社開発でエコキュートを上市したのは、2004年（平成16年）4月である。先行他社からは遅れての販売開始ではあったものの、現在に至るまでに業界で初めて上市した商品が2つあるので、今回これらの商品を紹介させていただくこととする。

3. エコミスト対応エコキュート

エコミスト対応エコキュートは、2006年（平成18年）1月に販売を開始し、現在でも販売している商品である。エコミストとはエコキュートを利用したミストサウナ機能のことである。今更ではあるが、浴室は、